

2024 年度 地域貢献活動報告

◆目的・意義

本校では、専門学校としての教育的使命と地域社会への貢献を目的とし、地域住民との交流や健康づくり、福祉の推進を図るさまざまな社会的活動を計画的に実施している。学生が地域活動を通して実践的な学びを得るとともに、地域の課題解決や住民の生活支援に寄与することを目的としている。

◆地域活動・社会貢献活動の実施状況（計 18 件）

- ・宇部市民（65 歳以上）対象
YIC チャレンジデー（体力測定・運動指導）開催（2 回）
宇部市まちなか保健室事業：健康づくり・介護予防講座の実施（受託事業）
- ・障がい者・健常児との交流
あいサポート山口：パラスポーツを通した健常児と障がい児の交流事業の開催
小学生対象 障がい者スポーツ体験会の開催
- ・子ども向けイベント
小学生対象の工作イベントの実施
- ・高齢者向け生涯学習支援
宇部市立第二人生高校での木工制作支援（宇部市一体的実施事業）
- ・その他健康・福祉関連
宇部市まちなか保健室事業 アロマテラピー講座の実施（作業療法学科 1 年生）
下関市インクルーシブスポーツ事業 パラスポーツ体験会の運営（両学科 2 年生）

◆学生ボランティア活動支援

- ・ボランティア活動の奨励・支援
学生表彰規定を設け、積極的なボランティア参加を促進
山口県障がい者支援課より依頼を受け、県内および全国障がい者スポーツ大会（佐賀）への学生 2 名の委嘱許可・活動参加
- ・単位認定との連携
ボランティア活動が単位の一部となる科目を設置
PT 学科：スポーツ理学療法学 B 、 OT 学科：スポーツ作業療法学

◆産官学連携事業の実施状況（地域の企業・業界団体・自治体等と連携し、計 54 件の事業・活動を実施）

- ・宇部市まちなか保健室事業
宇部市民（65 歳以上）を対象に、健康づくり・介護予防に関する講座を定期実施

◆所感

2024 年度も多く地域貢献活動を実施し、地域住民との交流を図ることができた。学生にとっては、授業で得た知識や技術を実践の場で発揮し、地域の現状や課題に触れる貴重な機会となった。特に、障がい者スポーツ体験や高齢者を対象とした健康づくり活動では、互いに学び合う機会となり、学生の職業意識の向上や対人支援に対する理解が深まった。また、地域からの信頼や期待の声も多く寄せられ、学校と地域が相互に支え合う関係づくりの一助となった。今後も地域のニーズに応じた活動を積極的に展開し、学生の実践力と地域貢献の場を広げていく方針とする。